

安全登山講演会 報告

日時 2013年11月24日(日) 13:30~16:00

場所 大宮 高鼻コミュニティセンター

講師 金邦夫氏(元警視庁青梅署山岳救助隊副隊長)

題目 「山岳遭難事故事例に学ぶ死なない為の教訓」

参加団体：山遊会ビスタ・リ、大宮労山、埜歩歩富士見山の会、新座山の会、秩父アルペン、わらび山の会、熊谷トレッキング、三郷山の会、峠山の会、ハイジアルペンクラブ、山なみハイキングクラブ、ハイキングクラブ上里、くまざさ山岳会、北本山の会、登山学校15団体 62名

最初にDVDにて奥多摩での山岳救助の実態を視聴し、金講師の奥多摩での救助活動から実体験をもとにたくさんの遭難事故例をおもしろおかしく、みなさんがよく行く奥多摩でも遭難事故が多いこと、又危険箇所を指摘して頂きとても参考になったと思う。

登山者のプライドが重要、男性の単独行での遭難事故が多い。これからもこういう講演会を通して安全登山の啓発をしていきたいと思えます。(記 尾手)

